

事故調査・検証委員会事務局からの提出依頼資料

1. 本件事故前の安全対策への取組に関する資料

- ②福島第一原発、福島第二原発、女川原発、東海第二原発、柏崎・刈羽原発、浜岡原発の設置許可並びに地震・津波対策及びその見直しに関する一切の資料（設計津波高さを3.1mとした設計許認可の際の関係書類、最高水位を5.7mと算出した2002年の「原子力発電所の津波評価技術(2002年)」(土木学会)関連書類、その算出方法に対する当時の経産省、原子力安全委員会による耐震安全性確認(バックチェック)に関する資料を含む。)

【当面代替可能な資料】

耐震設計審査指針の改定の概要と、それに伴い、左記に掲げる各原発のバックチェックに関する実施の要請、実施計画、評価結果、妥当性確認の結果に関する資料を提出していただくことでもかまいません。設置、変更関係の書類については、必要に応じ、担当官が現物を精査し、必要部分の写しを入手することがあります。

【提出資料】

1. 耐震設計審査指針の改訂の概要 【資料②-1】

2. 各原発のバックチェックに関する、
 - (1) 実施の要請
 - 平成18年9月バックチェック要請文書 【資料②-2-(1)】
 - (2) 実施計画
 - 平成18年10月に提出された実施計画 【資料②-2-(2)a】
 - 平成19年8月に提出された実施計画(見直し版) 【資料②-2-(2)b】
 - (3) 評価結果
 - 保安院作成評価書 【資料②-2-(3)】
 - ・福島第一(3、5号機)
 - ・福島第二(4号機)
 - ・女川(1号機)
 - ・柏崎刈羽(1、5、6、7号機)
 - ・東海第二

(4) 妥当性確認の結果に関する資料

○事業者からの報告書

【資料②-2-(4)】

- ・福島第一（改訂2）
- ・福島第二（改訂2）
- ・女川（補正）
- ・柏崎刈羽1号機、5号機、6号機（改訂）、7号機（改訂1）
- ・東海第二（改訂）
- ・浜岡3号機、4号機、5号機

3. 「原子力発電所の津波評価技術（2002年）」（土木学会）関連資料

○事業者による検討資料

【資料②-3】

・福島第一・第二

（土木学会「原子力発電所の津波評価技術」に係る影響評価 福島第一・第二）
（津波の検討—土木学会「原子力発電所の津波評価技術」に関わる検討—）

・女川

（土木学会「原子力発電所の津波評価技術」に係る女川・東通地点への影響）
（女川・東通原子力発電所における引き波時の対応について）
（津波の検討—土木学会「原子力発電所の津波評価技術」に関わる検討—）

・柏崎刈羽

（津波の検討—土木学会「原子力発電所の津波評価技術」に関わる検討—）

・東海第二

（土木学会「原子力発電所の津波評価技術」に係る影響評価（東海第二））

・浜岡

（浜岡原子力発電所の耐震安全性について 中央防災会議「東海地震に関する
専門調査会」による想定震源域についての検討）

- ③ 2006年6月24日開催の原子力安全・保安部会で岡村行信氏（産業技術総合研究所活断層・地震研究センター長（当時））が、869年の貞観津波に関する指摘をした際の部会議事録及び上記指摘を踏まえた原子力安全・保安院の対応に関して検討した際の起案文書、同添付資料、担当者メモその他の検討の過程及び結果が分かる一切の資料

【提出資料】

1. 第32回合同ワーキンググループ（2009年6月24日）
 - (1) 議事録【資料③-1】
 - (2) 津波評価に関する経緯（869年貞観地震等）【資料③-2】

- ④第33回合同ワーキンググループ（2009年7月13日）において、保安院が一定の場合に貞観地震の考慮を事業者に求めた際の議事録、配布資料その他の議事内容が分かる資料

【提出資料】

1. 第33回合同ワーキンググループ（2009年7月13日）
 - (1) 議事録【資料④-1-(1)】
 - (2) 配付資料【資料④-1-(2)】
 - (3) 議事概要【資料④-1-(3)】